社会福祉法人　東京援護協会

特別養護老人ホーム　いずみの苑

並木道

ホームページも

随時更新中！

令和３年２月１０日
発行責任者　矢嶋 吉雄
発行委員会　並木道委員会

P1　お正月の様子
P2　運動会の様子　P3　年忘れ会・新年会の様子
P4　医師・医務特集、編集後記

お抹茶と和菓子♥

元旦には記念撮影やそれぞれのフロアーで
だるま倒しや福笑いなどをしました。
１Ｆにて職員がお抹茶をふるまいました。

お屠蘇（とそ）も！

三が日は松花堂弁当でした♥

フロア別運動会

11月22日、29日に実施しました。

年忘れ会

12月20日、21日、24日と3日程に分けて行いました。

今年もスライドショーで2020年の思い出を振り返りました！

おやつには美味しいケーキが出ましたよ！

新年会

もちつき

ししまい

1月10日に新年会を行いました！もちつき、獅子舞と楽しんで頂きました！

新型コロナ感染症の動向について

新型コロナウイルスが日本に上陸して、すでに１年が経ちました。欧米よりは感染の状況が抑えられているとはいえ、今冬の第３派では感染拡大、医療逼迫が懸念されるため、再度緊急事態宣言が出されました。

またイギリスや南アフリカ、ブラジルではウイルス変異株が見つかり、それらは現在流行中のものより感染力の強いものであるため、わが国への水際対策も厳重になりました。

世界中で新型コロナウイルスは勢いを増しており、一向に終息する気配がありません。日本も、感染初期の頃と比べ、感染者数、死者数が加速度的に増加しています。また、緊急事態宣言も複数の都府県に拡大され、外国人の入国は全面停止されました。このような状況にあって介護の必要な高齢者が感染すると、とても大変なことになります。特に認知症の方が感染し、入院された場合、治療に加えての介護の大変さは想像を絶するものになると思います。確実な治療薬が存在しない今、ワクチンだけが頼りとなりますが、安全性と有効性の確認、特に変異株に対する有効性についても十分な検証が求められるべきでしょう。２月中には認可が下りる予定で、厚労省が発表しているワクチンの優先順位は、①２月下旬～安全性調査への参加に同意を得られる医療従事者②３月中旬～新型コロナ診療に関わる医療従事者、救急隊、保健所職員③３月下旬～高齢者④４月以降～その他（介護施設職員や持病のある方々を優先）となっています。早く新型コロナ感染が終息し、このような閉塞感から逃れ、自由で健やかな日々が戻ってくることを切に願います。

常勤医師　瓜生寛子

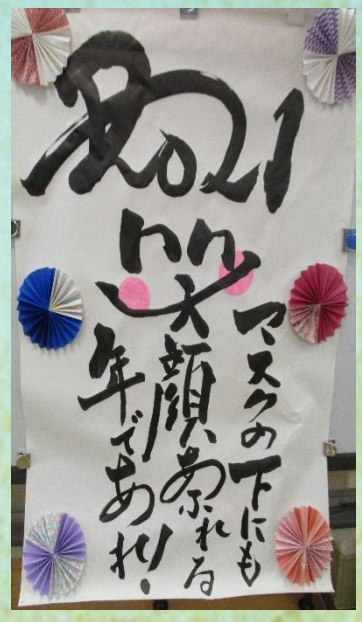
感染症対策について

今年度はコロナ禍の中で感染の発症を防ぐために様々な取り組みを行いましたので、いくつかご紹介させていただきます。①職員のマスク着用の徹底。手洗い、手指消毒について職員はもちろんのこと、利用者様にも習慣として実施しました。②行事活動では密にならないようにフロア毎に実施するなど今までとは違う取り組み方で実施しました。③新規入居者の方や短期入所の方や体調不良の利用者様への PCR 検査の実施。④面会制限に伴い、利用者様の近況報告としてお電話や一言メモまたタブレットを使用し撮影した動画をご家族様が状態を把握できるような取り組みをさせていただきました。今後も感染対策に取り組んで行きます。

編集後記

現在のコロナ禍における情勢下、面会を制限せざるを得ない状況が続いております。入居者様並びにご家族の皆様には大変ご心配、ご不便をお掛けしております。

入居者様には普段と変わらない生活を送って頂けるように、年間行事は職員が主体となり例年どおり実施致しました。昨年末の年忘れ会では「スライドショー」で入居者様の１年を振り返り、新年会では獅子舞が登場して１年の無病息災を願い、餅つきを楽しみました。また、端午の節句には「菖蒲湯」、冬至の時期には「ゆず湯」に入り、季節毎の入浴を楽しんで頂きました。皆様の笑顔を沢山見ることができ、職員一同ほっとしております。

この１年、職員も「持ち込まない、拡げない」に努め、様々な感染予防対策を講じてまいりました。右の写真は職員の力作です。明けない夜はないと思い、この未曾有の事態を乗り越え、またご家族様と一緒に行事が楽しめる日が来るまで、職員一同笑顔を忘れずに頑張ってまいります。

生活相談員：宮村